

宝山寺駅前線等の道路修景整備設計(予備)業務に係る
公募型プロポーザルの実施について (公告)

令和8年8月25日

生駒市長 小紫 雅史

下記業務について、公募型プロポーザル方式による受託候補者の特定をするに当たり、参加者の募集を行うので、公告する。

記

- | | |
|------------------|--|
| 1 業 務 名 | 宝山寺駅前線等の道路修景整備設計(予備)業務 |
| 2 業務内容及び
提出書類 | 別添「宝山寺駅前線等の道路修景整備設計(予備)業務に係る公募型プロ
ポーザル実施要領」のとおり |
| 3 業務期間 | 契約締結日から令和9年3月15日まで |
| 4 参加資格 | (1) 公示日から受託候補者特定の日まで、生駒市より入札参加停止措置
を受けていないこと。
(2) 地方自治法施行令(昭和22年5月3日政令第16号)第167条の4第1
項の規定に該当しないこと。
(3) 過去5年間(令和3年度から令和7年度まで)に国又は地方公共団体が
発注した同種業務(街なみ環境整備事業に係る業務)又は類似業務
(道路舗装改修又は整備に係る設計業務、景観形成に係る検討業務
等)の受託実績があり、その実績が本業務の予定価格の2分の1以上
であること。なお、現在業務履行中の場合であっても受託実績に含む
ものとする。
(4) 管理技術者として、「道路」の分野における技術士(総合技術監理部門
または建設部門)又は RCCM(道路)のいずれかの資格取得者(提案
者との雇用関係を証明できるものに限る)を配置できること。
(5) 照査技術者として、次に掲げるいずれかに該当する者を配置できるこ
と。なお、管理技術者と兼任しての配置は不可とする。
・「都市及び地方計画」の分野における技術士(総合技術監理部門また
は建設部門)
・「道路」の分野における技術士(総合技術監理部門または建設部門)
・「造園」の分野における技術士(総合技術監理部門または建設部門)
・RCCM(都市計画および地方計画)の資格取得者 |

- ・RCCM(道路)の資格取得者
- ・RCCM(造園)の資格取得者

- (6) 担当技術者として、「都市及び地方計画」の分野における技術士(総合技術監理部門または建設部門)又は RCCM(都市及び地方計画)のいずれかの資格取得者(提案者との雇用関係を証明できるものに限る)を1名以上配置できること。なお、管理技術者又は照査技術者がこれらの資格取得者である場合は、配置を省略することができる。
- (7) 破産法(平成16年法律第75号)の規定により破産の申立てがなされていないこと。
- (8) 会社更生法(平成14年法律第154号)に基づき更生手続き開始の申立てをしていないこと又は民事再生法(平成11年法律第225号)に基づき再生手続き開始の申立てをしていないこと。ただし、会社更生法の規定による更生計画又は民事再生法の規定による再生計画について、裁判所の認可決定を受けた者を除く。
- (9) 次のアからオまでのいずれの場合にも該当しないこと。
- ア 役員等(法人にあっては役員(非常勤の者を含む。)、支配人及び支店又は営業所(市との契約に関する業務を行う事務所をいう。以下同じ。))の代表者を、法人格を持たない団体にあっては法人の役員と同等の責任を有する者を、個人にあってはその者、支配人及び支店又は営業所を代表する者をいう。以下同じ。))が暴力団員(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号。以下「暴対法」という。以下同じ。))第2条第6号に規定する暴力団員をいう。以下同じ。))であると認められるとき。
- イ 暴力団(暴対法第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。))又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。
- ウ 役員等が、その属する法人若しくは法人格を持たない団体、自己若しくは第三者の不正な利益を図る目的で、又は第三者に損害を与える目的で、暴力団又は暴力団員を利用していると認められるとき。
- エ 役員等が、暴力団又は暴力団員に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等直接的若しくは積極的に暴力団の維持及び運営に協力し、又は関与していると認められるとき。
- オ 上記ウ及びエに掲げる場合のほか、役員等が、暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

5 提出期限

令和8年9月14日(月)16時まで(必着)